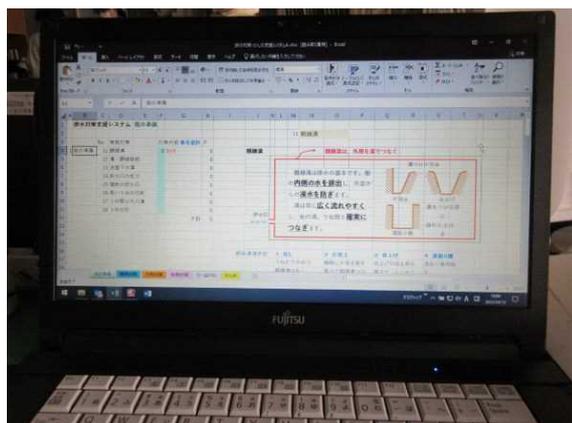


令和4年4月

普及活動報告



農家毎の管理提案書を手渡しして現地指導



パソコンによる排水対策支援システムも作成中

黒大豆の安定生産に向けて

(京丹波町：4日)

黒大豆の収量不安定の大きな要因となっている湿害回避のため、生産者に排水対策実施を促すとともに、適期作業を呼びかけました。

普及指導計画の取組として、現地指導の他、当センターHP、チラシ、会員を募ってのメール配信、地元自治体のCATVなどを活用し、排水対策の意識啓発に取り組んでいくこととしています。

農家それぞれのは場の状況に基づいて排水対策の提案を行い、改善点を再認識してもらえるよう誘導しています。CATVでは改善事例を追跡して見せることで、双方向の情報発信を目指しています。

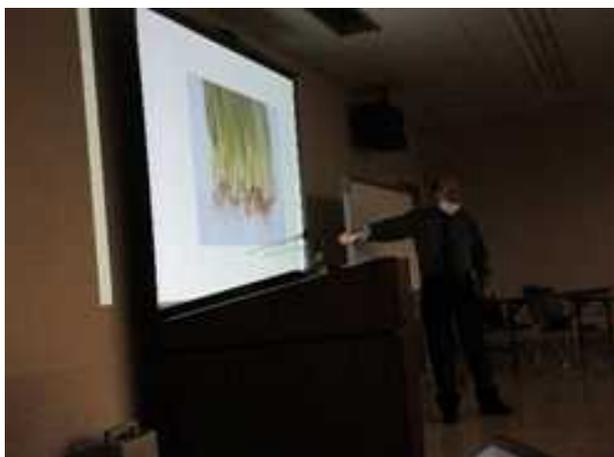
場 所 京丹波町黒大豆予定ほ場
出席者数 6名

栽培面積：令和3年度 約22ha（主な生産者分）

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年4月

普及活動報告



淡路農事研究会講師の講義



4月中旬のタマネギほ場

亀岡市曾我部町のタマネギ栽培研修会を開催

(亀岡市：10日)

亀岡市曾我部町ではかつて地域の特産品であったタマネギを再興するため、営農組織「まる曾れい仙の郷」を設立して生産出荷に取り組んでいます。今回は栽培技術向上のため、淡路島農事研究会の講師を招きタマネギの栽培管理研修会を行いました。

研修会では、淡路農事研究会が独自開発をした有機肥料を施用することによる根張り効果や貯蔵性、病害耐性について説明がありました。普及センターからは、べと病の感染時期や防除のポイント等を説明し、会員の積極的な意見交換の場になりました。

普及センターは、今後も定期的にはほ場巡回を実施し、引き続き支援していきます。

場 所 JA京都亀岡中部支店
出席者数 26名

令和4年度産タマネギ栽培状況：栽培面積1.5ha

京都府南丹農業改良普及センター